

● 2004年度日本移民学会ワークショップ

共通テーマ：日本帝国をめぐる人口移動（移民）の諸相・研究序説

日時：2005年3月26日、27日

会場：京都大学文学部第7講義室（Tel：075-753-2554）

プログラム：

26日

開場 12時半

開会 13時

【第1セッション：満洲・朝鮮】（13時05分～16時05分）

司会 木村健二（下関市立大学）

1. 「20世紀前半中国東北における「開発」と移民—第二松花江「開発」を事例として—」小都晶子（大阪外国語大学大学院博士後期課程）
2. 「『満洲』における漢民族移民—満鉄『労務時報』を中心に—」上田貴子（日本学術振興会特別研究員）
3. 「戦後引揚者と「満洲」の記憶—岐阜県の旧満洲開拓団を事例に—」猪股祐介（東京大学大学院博士課程）
4. 「占領期における「不法入国」朝鮮人への法制度の変遷—マルチスケール・アプローチを手がかりにして—」福本拓（京都大学大学院博士後期課程）

【第2セッション：サハリン】（16時10分～18時25分）

司会 竹沢泰子（京都大学）

1. 「戦前期樺太における商工業者の活動—樺太農業開拓との関係を中心に—」竹野学（北海道大学）

2. 「サハリン先住民、とくに樺太アイヌの「引揚げ」の要因」田村将人（千葉大学大学院博士後期課程）

3. 「彦根高商の修学旅行という経験」阿部安成（滋賀大学）

【懇親会】 18時45分～20時45分

会場：京大生協「ほくと」（於北部構内、Tel：075-753-7649）

会費：3000円

27日

【第3セッション：台湾】（9時30分～12時30分）

司会 杉原 達（大阪大学）

1. 「沖縄県八重山地方から植民地下台湾への出稼ぎ・移民－1920-30年代を中心に－」松田ヒロ子（オーストラリア国立大学大学院博士課程）

2. 「草創期の『台湾教育会雑誌』に見る「在台内地人」教育をめぐる言説について」高嶋朋子（大阪外国語大学大学院博士後期課程）

3. 「植民地下台湾における中国人の人口移動について（仮）」鐘 淑敏（台湾中央研究院）

4. 「沖縄と台湾間の双方向的な移動について」野入直美（琉球大学）

【第4セッション：「南洋」】（13時30分～15時45分）

司会 小島 勝（龍谷大学）

1. 「マニラ湾における日本人漁業者と移民送出母村」武田尚子（武蔵大学）

2. 「仏領インドシナにおける邦商「雑貨輸入商」「漆輸出商」の役割－日仏共同支配前の日本人社会－」湯山英子（北海道大学大学院博士後期課程）

3. 『『ダバオ国』の形成と崩壊、そして残された人々』大野 俊（オーストラリア国立大学  
アジア学部アジア社会歴史センター）

<休憩：15時45分～16時15分>

【第5セッション：総合討論】（16時15分～17時45分）

司会 蘭 信三（京都大学）

総括コメント（木村健二、坂本悠一（九州国際大学）、他）

閉会17時50分

以上

<新刊紹介>

山本義彦著『清沢洌 ―その多元主義と平和思想の形成』学術出版会、2006年・・・坂口満広  
林かおり著『私は戦争花嫁ですーアメリカとオーストラリアで生きる日系国際結婚親睦会  
の女たち』北國新聞社、2006年・・・土屋智子